

(別添)

# 令和8年度「共家事・共育て推進事業」委託に関する仕様書

(「育児の日」フォーラムの企画・開催及びアーカイブ動画制作)

## 1 趣旨

県内における共家事・共育てに対する機運を高めるとともに、男女がともに家事・育児を担う「共家事・共育て」の実践を推進し、これまで関心の薄かった層も含め、フォーラムの実施を通じて、理解促進や意識・行動の変化につながるように、「育児の日」フォーラムを開催する。

## 2 開催時期・場所等

- (1) 開催時期 令和8年7月～12月(土・日・祝日に限る)
- (2) 開催回数 1回
- (3) 開催時間 午後1時～午後5時までの間で2時間以上
- (4) 場 所 鹿児島市内において、集客しやすい会場  
(収容人数：100人程度)
- (5) 対 象 子育て中の方・子育てに興味・関心のある方、企業の人事担当職員等
- (6) 定 員 150人程度(会場100人、オンライン50人)
- (7) 参加料 無料

## 3 内容

### (1) 基本的事項

- ① イベントの名称に、「育児の日」を入れること。
- ② 子育て中や子育てに興味のある一般県民の方々をはじめ、企業の人事担当者等が興味を持ち、気軽に参加できるような企画とする。
- ③ 本事業の目的に沿ったコンセプトのもと、県民や関係者が、地域の子ども政策及び共家事・共育ての推進について、理解と認識を深める機会を多く提供するものとする。

### (2) 開催イベント

上記目的が効果的に達成されるよう、企画内容や全体の時間配分等については、自由な発想で企画するものとする。

なお、以下の①～③は必須項目のため取り入れること。

## 【項目】

### ① 講演

男女がともに家事・育児を担う共家事・共育てを身近なものとして感じてもらい、当事者においては、より深く自身の子育てについて考えるきっかけとなるような内容とすること。

また、対象者の関心・注目度の高いテーマ・人物を講師とし、集客効果を重視すること。

### ② トークセッション等（パネルディスカッションを含む）

共家事・共育ての取組、の意義や実践事例、仕事と家庭の両立に関する工夫などについて理解が深まる内容とし、参加者が自分事として考えるきっかけとなるような構成とすること。

形式については、パネルディスカッション、対談形式のトークセッションなど柔軟に企画することができるものとする。

### ③ ワークショップ

家族で共に家事・育児に関わることを体感できる内容、妊婦の体験ジャケットを着用しての、家事体験や親子で作る物づくり体験など、家族で参加しやすいイベントを提供すること。

## (3) 会場全体の演出

ロビーや会場内において、子育て支援に関するパネル展示を行うほか、フォーラムが盛り上がるような会場全体の演出について企画し設営する。

## (4) 印刷物等

次の印刷物を企画し、作成すること。

### ① 参加者案内はがき

### ② プログラム（当日参加者用、A4版小冊子、両面カラー）

### ③ 当日会場内の看板類一式

### ④ 当日アンケート（アンケート内容は県と協議）

## 4 参加者募集・広報

フォーラム開催にあたり、集客が図られ、共家事・共育ての理解促進につながる効果的な広報を企画し、実施すること。

## 5 アーカイブ動画の制作

(1) フォーラムの内容を記録したアーカイブ動画を撮影すること。

(2) 講演及びトークセッション等の内容を通じて、共家事・共育ての理解促進が図

られるよう留意し編集すること。

- (3) 成果品として次の動画データを提出すること。
  - ① フォーラム全体の内容を収録した動画（フル版）
  - ② 広報等で活用可能な短時間の編集動画（ダイジェスト版）
- (4) 動画の長さ及び編集内容については、県と協議の上決定すること。
- (5) 当該動画は、県が広報、啓発、研修その他関連事業において、成果品提出後3年間使用できるものとする。

## 6 その他

- (1) フォーラムにおいては、託児室の設置及び託児の保育を行うこと。
- (2) 業務委託契約を締結した際の業務委託料の額には、会場使用料、出演者に対する謝金など、フォーラムの開催等に係る一切の経費を含むこと。
- (3) 業務内容は、出演者、司会者等の推薦、会場の手配、フォーラムの企画、参加申込手続、当日の受付業務など全般とする。